



きたかみ市議会だより

第100号
《記念号》

平成28年2月12日

平成3年7月に創刊した
きたかみ市議会だよりは
今回で100号を迎えました
議会で議論したことや
調査したことなどを
市民の皆様にはわかりやすく
お伝えしようと
工夫を重ねてきました
今後も一層親しまれる
議会広報を目指して
取り組んでいきます



創刊号 (平成3年7月)
表紙：男山からの眺望
『新上市に67議員』



第5号 (平成4年5月)
表紙：東北横断道の建設
『新議員36名による初議会』



第10号 (平成5年7月)
表紙：少年少女発明クラブ
『日高見橋開通で論議』



第15号 (平成6年10月)
表紙：御新田太鼓
『行政サービスなどで論戦』



第20号 (平成8年1月)
表紙：山口スキー場
『13市町村議会が協議会』



第25号 (平成9年5月)
表紙：北上陸上競技場建設
『予算編成方針など論議』



第30号 (平成10年7月)
表紙：インターハイ開会式
『教育施設の整備で論戦』



第35号 (平成11年10月)
表紙：北上総合運動公園
『介護保険実施に向け質疑』



第40号 (平成13年1月)
表紙：21世紀の夜明け
『IT化推進で活発な質疑』



第45号 (平成14年4月)
表紙：展勝地さくらまつり
『新委員会の構成決まる』

最後のページに続きます

通年議会がスタート!!
 農業委員会や個人番号の条例で賛否が分かれる
 初の「通常会議」

会議期間
 12月3日～17日

審議した議案
 条例…9件
 補正予算…9件
 指定管理…25件
 その他…2件
 発議案…2件

農業委員会条例

賛成・反対が分かれました ・北上市農業委員会の委員等定数条例

現在の農業委員会
 農業委員…36人
 【選挙による委員30人
 +団体等からの推薦6人】

平成28年4月から
 農業委員…19人【市長が任命】
 農地利用最適化推進委員…30人
 【農業委員会が委嘱】

法律の改正に対応し、農業委員の定数を19人とする
 こと、農地最適化推進委員を新設することなどを定める条例を制定しました。

農業委員会の委員等の定数や報酬を決定



【賛成討論】
齊藤律雄議員
 農業委員会が農地利用の最適化を効果的に果たすことを目的とした法改正に対応する条例であり、制定しなければ農業委員会を組織することができなくなるため、賛成する。

【反対討論】
八重樫善勝議員
 法改正による農業委員の公選制廃止や、中立委員を置くことにより、市町村長の意向に沿う農地転用が可能となる心配がある。そのため、法改正に基づく条例には反対である。

採決結果

賛否	新 清 会				北 新 ネット				北 政 会				無 会 派			
賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	
○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	7	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成・反対が分かれました

- ・北上市行政手続における個人番号の利用等条例
- ・北上市市税条例の一部を改正する条例

全員が賛成しました

- ・北上市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- ・北上市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例
- ・北上市水路条例の一部を改正する条例
- ・北上市道路占用料徴収等の特例条例の一部を改正する条例
- ・北上市都市計画審議会条例の一部を改正する条例
- ・北上市みどりのまちづくり条例の一部を改正する条例

その他 条例

【反対討論】
鈴木健二郎議員
 番号利用による住民のメリットは少なく、プライバシーの侵害や安全対策、チェック体制にも不安があるため、条例に反対する。

《付帯意見》
 条例を審査した総務常任委員会では、次の意見を付しました。
 ★個人番号の利用に当たっては、具体的手続き等の運用について十分検討し、法令遵守のための内部規程を整備する等の対策を講じること。

マイナンバー利用の条例を制定
 個人番号を利用する事務等についての条例を制定しました。各種申請書に個人番号を記入することで、添付書類の省略等ができるようになります。

採決結果

賛否	新 清 会				北 新 ネット				北 政 会				無 会 派			
賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

補正予算

賛成・反対が
分されました

全員が
賛成しました

- ・平成 27 年度北上市一般会計補正予算（第 3 号）
- ・平成 27 年度北上市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
- ・平成 27 年度北上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- ・平成 27 年度北上市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
- ・平成 27 年度北上市工業団地事業特別会計補正予算（第 3 号）
- ・平成 27 年度北上市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）
- ・平成 27 年度北上市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）
- ・平成 27 年度北上市電気事業特別会計補正予算（第 1 号）
- ・平成 27 年度北上市下水道事業会計補正予算（第 2 号）

▼一般会計と特別会計の補正予算額

会計名	補正額	補正後の額
一般会計補正予算（第 3 号）	3 億 8,773 万円	380 億 5,133 万円
特別会計補正予算		
国民健康保険（第 2 号）	7,590 万円	98 億 5,111 万円
後期高齢者医療（第 1 号）	1,951 万円	14 億 2,484 万円
介護保険（第 2 号）	7,901 万円	72 億 5,973 万円
工業団地事業（第 3 号）	△ 450 万円	3 億 3,152 万円
電気事業（第 1 号）	1 億 5,213 万円	2 億 4,303 万円

（農業集落排水事業特別会計と駐車場事業特別会計は債務負担行為のみの補正）

一般会計は
3 億 9 千万円ほど追加
ふるさと納税の寄付者への特典送付費用や、保育所等への負担金増額などの補正予算を審議しました。
（仮称）北上市農業支援センターの平成 32 年度までの運営業務委託費用に関して、委託のあり方への質疑があり、賛否が分されました。

▼一般会計の主なもの（歳出）※表中の金額は、1 万円未満を切り捨てています

項目	補正額	摘要
地域おこし協力隊推進事業	192 万円	地域おこし協力隊の募集に必要な費用
市内私立保育園保育実施事業	4,361 万円	国県補助金の増額に対応した委託料の増
施設型給付費等負担金	2,993 万円	国県補助金の増額に対応した認定子ども園への負担金の増
地域型給付費等負担金	4,320 万円	国県補助金の増額に対応した小規模保育所への負担金の増
ふるさと便 PR 事業	5,035 万円	ふるさと納税の寄付者に対し特典を送付するための費用の増
北上市企業設備投資奨励補助金	1,591 万円	新たに 4 社が補助対象となったことによる補助金の増
街路灯設置事業費補助金	1,136 万円	地域からの申請が見込みを大幅に超えたことによる補助金の増
災害復旧事業（道路・河川）	1,353 万円	9 月 11 日の豪雨で被災した道路法面と河川護岸の復旧費

採決結果

賛否	新 清 会					北 新 ネット					北 政 会					無 会 派											
	賛	反	齊藤	藤本	菅野	高橋	高橋	星	三宅	阿部	川邊	武田	梅木	小原	佐藤	及川	八重	千葉	佐藤	高橋	小原	藤原	安徳	星	八重	鈴木	
成	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算	22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○



全会員が賛成しました ・黒沢尻北地区交流センターの指定管理者の指定 ほかに 24 件について

施設名	指定管理者
各地区交流センター（市内 16 地区）	各自治組織
北上市民相去体育館	相去地区自治協議会
北上市民和賀体育館	和賀地区自治協議会
北上市民黒沢尻体育館 北上市民柔剣道場 北上市民弓道場 北上市民相去体育センター 北上市民岩崎野球場 北上市民野川目運動場 北上市民岩崎競技場 和賀農村環境改善センター 北上市多目的催事場	特定非営利活動法人フォルダ
北上市北部勤労者屋内運動場 村崎野勤労者体育館 北上市民藤沢広場 北上市民成田スポーツ交流館	株式会社小原建設
北上市民江釣子体育館 北上市民江釣子野球場 和賀川グリーンパークテニスコート 江釣子勤労者体育センター 北上市民江釣子運動場 北上市民野中ふれあい広場 北上市民日平ふれあい広場 北上市民やまつきふれあい広場	公益財団法人北上市体育協会
樺山歴史の広場	稲瀬町自治協議会
煤孫農村交流プラザ	煤孫振興会
北上市技術交流センター 北上市技術研修館	北上工業クラブ
江釣子共同福祉施設	鳩岡自治会
北上駅東口駐車場 北上駅前自転車駐車場 北上駅東口自転車駐車場	南光警備保障株式会社

指定管理

体育施設などの
指定管理者を決定
各地区交流センターや
体育施設の指定管理者を
決定しました。期間は、
平成 28 年 4 月
1 日から 5 年
間です。



議案

産業建設常任委員会提出

TPP交渉結果の情報開示及び必要施策の構築を求める意見書

次の3点を国に求めるものです。①TPP交渉の結果を速やかに開示し、その影響について分析の上、公表すること。②TPP交渉の大筋合意の内容が、地域の現状を理解し、日本国全体の国益にかなつたものとなっているか、国会で十分に審議すること。③国内の農林業の競争力向上など必要な対策について速やかに検討し、具体策を提示すること。

全員が賛成しました

総務常任委員会提出

安全保障関連法案の強行採決に抗議し同法の廃止を求める意見書

第189回国会の最大の焦点であった安全保障関連法案は、国民の理解が得られたとは言えず、多くの憲法学者などが、法案の違憲性を断じたことは、重く受け止めるべきです。採決が強行され、成立したことは誠に遺憾であり、安全保障関連法案の強行採決に抗議するとともに、「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」を廃止するよう求めるものです。

賛成・反対が分かれました

【反対討論】
小原享子議員
安全保障環境の激しい変化の中、対案もなく無責任な廃止を求める意見書の提出は、議会の信頼を失うものであり、意見書に反対する。

賛否		新 清 会					北 新 ネット					北 政 会					無 会 派								
賛	反	齊藤雄	藤本樹	菅野志	高橋至	高橋博	星俊和	三宅靖	阿部真希男	川邊津好	武田勝	梅木忍	小原敏道	佐藤恵子	及川誠	八重樫七郎	千葉一夫	佐藤重雄	高橋孝二	小原享子	藤原正	安徳壽美子	星敦子	八重樫善勝	鈴木健二郎
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
21	3																								

請願

TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める請願

【提出者】 花北農民組合 高橋 光幸

第1項
TPP大筋合意の詳細と協定本文を開示し、議論を保障することを求める内容

第2項
TPP大筋合意を撤回し、協定への調印・批准を行わないよう求める内容

賛成・反対が分かれました

趣旨採択とし、意見書に反映させました。

趣旨採択

【討論】
安徳壽美子議員
TPPの大筋合意は、国会決議が守られておらず、農家や農業団体はもちろん、労働組合や市民団体など広範な人たちが反対し、撤回を求めていることから、請願は採択すべきである。



情報が開示されていない段階で撤回を求めるのは早計であるとの意見があり、不採択となりました。

不採択

賛否		新 清 会					北 新 ネット					北 政 会					無 会 派								
採	不採	齊藤雄	藤本樹	菅野志	高橋至	高橋博	星俊和	三宅靖	阿部真希男	川邊津好	武田勝	梅木忍	小原敏道	佐藤恵子	及川誠	八重樫七郎	千葉一夫	佐藤重雄	高橋孝二	小原享子	藤原正	安徳壽美子	星敦子	八重樫善勝	鈴木健二郎
○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
4	20																								

安全保障関連法案の強行採決に抗議し廃止を求める請願

【提出者】 憲法改悪阻止北上連絡会 代表 八重樫 一郎

同じ趣旨の意見書を提出する議案が可決したため、請願も『採択』とみなします。

採択

TPP交渉の大筋合意についての対応に関する請願

【提出者】 花巻農業協同組合 代表理事組合長 高橋 専太郎

国がTPPの経済効果分析の公表を予定していることから、その内容を見た上で判断するため、審査を継続することとしました。

継続

2～4ページの議案のほか、市道路線の廃止及び認定については、全員の賛成により可決しました。

一般質問

Q 介護人材を確保するため、北上福祉教育

A 黒沢尻東・黒沢尻西地区を業務区域とする新たな地域包括支援センターの早期設置に取り組む。

Q 地域包括支援センター増設の考えは。

A 平成27年4月1日現在の待機者数は77人で、施設の整備により前年度より34人減少。待機者解消のため、施設の増床やグループホーム等の整備を計画している。

Q 特別養護老人ホームの待機者数と対応は。

高齢者福祉の推進を



さとう けいこ 議員

専門学校へのさらなる支援は。

A 入学者の定員割れにより、介護事業者からの人材要請に応じられない状況である。入学希望者を増やすため、市独自の方策を早急に打ち出したい。

児童虐待対応の体制強化を

Q 児童虐待に対応する職員の増員は。

A 児童虐待の通告や相談に対しては、子育て支援課の担当係と家庭児童相談員2人が、市の関係部署や関係機関と連携して問題解決に取り組んでいる。そのため、今後も現在の職員体制で対応していく。

保育士の処遇改善を考えているか

Q 保育士が不足している要因は何か。

A 国の調査によると、保育士職への就業を希望しない理由として、事故への不安、就業時間と賃金の問題、休暇が少ない等が挙げられている。また、特にも臨時保育士は処遇の面で課題があり、希望者が少ない傾向がある。



ほし 俊和 議員

Q 人材確保に向けて立ち上げた「保育士等復職プログラム」の内容と成果は。

A 保育士等の資格を有しながらも、保育の仕事に携わっていない方を対象にした事業で、保育施設の見学、研修、希望者による保育体験などを行った。12人が参加し、4人が保育士として復職した。

空き家への対応を

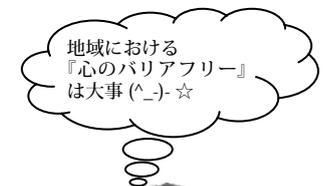
Q 対策計画の策定は。

A 空家等対策計画と条例を、本年度中に策定する予定。

療育に日々の積み重ねを

Q こども療育センターに保育型を導入する考えはないか。

A 施設の整備や人員の配置が困難である。保育所等での障がい児保育で対応できない場合は、花巻イーハトーブ養育センターの利用をお願いしたい。



うめき しずぶ 議員

国体に向けて環境美化の推進を

Q マイ箸・スプーンやリユース食器持参、ごみ持ち帰り等、ごみの出ないイベントを推進してはどうか。

A 事業系のごみ減量に寄与するため、イベントの主催者に働きかけていきたい。

Q 「歩きたばこ」や「ポイ捨て」禁止の条例制定・注意喚起が必要ではないか。

A 条例制定よりも、喫煙者のマナー・モラルの向上が大切と考える。他市の先進事例を含め研究し、意識啓発に努める。

一般質問

(*)平和記念展示館：市が展示場所を無償提供し、地域が管理運営委員会を設置して、資料保存や施設管理を行っている。

号にあたり皆様のご苦勞を感謝して



ちば いちお 議員

農業支援センターの役割や体制は

Q 農業支援センターの役割を示せ。

A 農業者の相談に対して、関係機関や専門家の紹介や橋渡しを行う。情報提供や申請書等の作成支援など、構想段階から商品化、販売に至るまでの一連の支援も担う。

Q 支援センターの実施体制は。

A 支援センターの業務は外部委託し、コーディネーター3人と事務員1人の4人体制で業務に当たり、市役所本庁舎3階に設置したい。

農集排組合活動の方向付けは

Q 農業集落排水施設の管理組合を終結させる考えはないか。

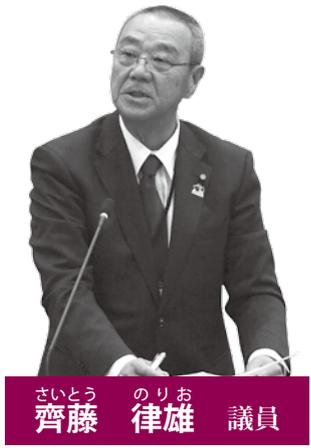
A 住民参加型で日常の管理を行うため、組合を継続していく必要があると考える。

平和記念展示館の今後は

Q 平和記念展示館(*)の管理は適正か。また、新築の考えは。

A エアコン設置で、資料を良好に保存できるようにになった。アスベストは囲い込み手法で安全である。新築の要望は聞いていない。

市民に愛される博物館・展示室を望む



さいとう のりお 議員

博物館大規模改修の見通しは

Q どのような展示内容となるのか。

A 博物館は、平泉に先立つ仏教文化の地であった「国見山廃寺跡」など、北上市の歴史的特徴に焦点を絞った展示を行う。また、和賀庁舎1階の展示室は、市全体の歴史の展示と動物や地質など自然分野の展示を行う。

Q 開館の見通しは。

A 博物館と和賀庁舎の展示室は、どちらも平成28年9月下旬の開館予定であり、国体の開会に間に合うよう準備を進める。

ニーズに応える農業支援センターに

Q どのような考え方で農業支援センターを業務委託するのか。

A 支援センターでは、農業に関する専門的な知識や情報がある専門家で支援する必要がある。また、専門的情報を蓄積させる必要があるため、人事異動がある市の職員では対応が難しい。そのため、一般社団法人北上市機械化農業公社に業務を委託したい。

Q 事業の開始時期は。

A 平成28年4月から、本格的な事業展開を予定している。

(*)自伐型林業：所有する山や地域の森林で、木の伐採・搬出・出荷を専門の業者に委託せず、自力で担う林業。

きたかみの里山を利用間伐で100年の森に育てよう



たけだ まさる 議員

自伐型林業を育成し中山間地の定住化を

Q 北上ハイテクペーパー(*)による自伐型林業(*)を育成する事業を積極的に支援すべきではないか。

A 里山の整備や森林所有者の収入増、企業等への木材供給につながる自伐型林業を推進していく上で、大変有効と考える。事業を継続できるように、林野庁の補助事業等を検討する。

子どもたちに国体観戦の機会を

Q 市内の小中学生に国体観戦をさせては。

A 一流のプレーを体感できる絶好の機会でもあり、校長会等と協議し進める。

公共事業の早期発注・平準化を

Q 早期発注のための方策は。

A 補助対象事業は、補助金交付決定後、速やかに発注できる体制を整えている。

一般質問

A 小学部と中学部の分

Q 分教室設置に向けた県との協議状況と、将来の見通しは。

特別支援学校の分教室整備は

①耐震診断は個人負担が3千円で応募しやすく、重点的に周知する。
②耐震改修への補助額は対象経費の2分の1以内の額で、上限61万7千円としており、現段階で増額は予定していない。

A ①耐震診断は個人負担が3千円で応募しやすく、重点的に周知する。
②耐震改修への補助額は対象経費の2分の1以内の額で、上限61万7千円としており、現段階で増額は予定していない。

Q ①事業の周知は。
②耐震改修への補助を、高齢者、障がい者、低所得者世帯に増額する考えは。

木造住宅耐震診断と改修への支援拡充を

障がいがあっても生まれた所でみんなと育ちあいたい



あんどく すみこ 安徳 壽美子 議員

A 教室は、早ければ平成29年4月の開校を目指して県との協議を進めている。高等部は、保護者の意向を把握しながら、県への要望等を検討する。分教室設置は当面の措置であり、改めて特別支援学校の新設を要望すること考えられる。

Q 分教室設置に向けた県との協議状況と、将来の見通しは。

インフルエンザ予防接種への助成を

A 県内14市のうち、当市を除く13市で助成している。国による新ワクチンの予防効果の検証を注視し、助成のあり方を考える。

Q 口腔崩壊(*)状態の児童の状況と、口腔衛生の指導方法は。

次世代を担う子どもを育む環境を



ふじわら ただし 藤原 正 議員

Q 不登校者数の状況は。

子どもたちに多様な教育機会を

A 平成27年度の調査では、市内小中学校の3分の1の学校に口腔崩壊状態の児童生徒がいた。全小中学校で歯磨き指導を実施しており、今後とも家庭と連携し、計画的・継続的に歯科指導に取り組む。

A 平成26年度に30日以上欠席した児童生徒数は、小学校10人、中学校46人で、全国

Q 適応支援教室「ひまわり広場」の課題と今後の対応は。

子どもの歯の健康維持を

と県の出現率を下回っている。

Q 特定の学校について、市内のどこからでも就学を認める特認校制を導入しては。

特認校制導入は

A 小規模化を解消できるほどの児童の増加は難しいと考える。

A カウンセリング等を行う指導員が1人しかおらず、学校教育課の教育相談員や指導主事が業務の間を縫って対応しているため、教育相談体制を充実させたい。

Q TPPが実施されれば、影響は甚大と思うが、見解と影響、対応は。

TPPの影響は甚大

地域に必要な機能をそろえないあじさい都市って何だ!



すずき けんじろう 鈴木 健二郎 議員

A TPP交渉の大筋合意は、過去に例のない自由化に踏み切っている。食の安全性が心配されるほか、市の基幹産業である農業、中でもコメや牛肉・豚肉などの生産農家への影響が懸念される。一方、工業分野においてはプラスの面が期待される。市独自の対策としては、6次産業化等のために中間支援体制を整備するほか、養豚経営安定対策を継続していく。

地域に必要な施設は

Q あじさい都市構想は必要な施設等をすべて揃えるものではないとしているが、地域が機能するのかが。

A 地域内にすべての生活機能を設置するのではなく、今あるものを活用し、将来は施設等の集積により利便性を高めようとするものである。

Q 道路整備などの地域課題を、市の計画へ反映すべき。

道路整備などの地域課題を、市の計画へ反映すべき

A 生活道路の整備について、地域ごとに定めた優先順位がそのまま市の計画になるわけではないので、配分の透明化が大切と考えている。

(*)口腔崩壊：虫歯が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなどの状態。

一般質問

大学生の2人に1人は奨学金
平均貸与額は295万円!



やえがし ぜんしろう
八重樫 善勝 議員

奨学金を給付型に

Q 奨学金を貸付型ではなく、返済不要な給付型とし、人口減少対策や定住化政策に活用できないか。

A 市の奨学金の貸し付けを受けている学生が、市内に就職、定住する場合には、返済の一部を免除する制度を検討している。また、給付型奨学金の導入は、定住化に有効な政策の一つとして研究する。

国体に向けた各種団体との連携は

Q 自治組織、教育機関、ボランティア団体等とどのように連携し進めるのか。

A 小中学校全体を一つの事業所ととらえて、全校で実施し、経費は全額市負担で検討している。

A 日程や内容等を関係機関に早期に示し、連携を強化する。

Q 競技練習会場のトイレ整備の考えは。

A 現況を確認し、必要に応じて仮設トイレを設置する。

ストレッチエック義務付けは

Q 労働安全衛生法の改正では、教職員50人未満の学校におけるストレッチエックは努力義務となっているが、各校で実施すべきではないか。

A 現在行っている学習支援を年間型で実施できないか、親子で参加できるものを取り入れられないかについて、事業を実施している社会福祉協議会と協議する。

ひとり親家庭への支援の充実を

Q 伴走型で包括的支援が出来るか。

A 個々のケースに応じ、調整会議で包括的な検討をしている。

Q 平日の日に相談できない方への対応は。

A 事前に日時の相談があれば対応したい。

Q 子どもと親の居場所作りは。

A 現在行っている学習支援を年間型で実施できないか、親子で参加できるものを取り入れられないかについて、事業を実施している社会福祉協議会と協議する。

子ども達みんなの未来に支援出来たらな



おぼら きょうこ
小原 享子 議員

※「ロタウイルス」：「嘔吐・下痢」の症状を伴う急性胃腸炎を引き起こすウイルス。月齢が低いほど重症化しやすい。

ロタウイルスワクチンへの助成は

Q 任意予防接種「ロタウイルス(*)ワクチン」への助成は。

A 国において定期接種化を検討していることから、国の動向に注視したい。

公共下水道の長寿命化は

Q 下水道管の更新は。

A 老朽管の更新は、平成28年度に長寿命化計画を策定、平成29年度から更新事業を開始する。ポンプは1箇所につき2基設置し、リスクを軽減している。定期点検で劣化の著しいものは交換している。

保育の方向性は

Q 公立幼稚園・保育園施設整備計画は。

A インフラ資産マネジメントによって必要な整備をしていく。

Q 経験豊富な保育士の育成、子どもや家庭の状況を直接把握できる公的保育の責務と役割は重要。具体的再編・整備計画を示す中で、公的保育の意義を見直していくべきではないか。

A 施設の改築や新築の際は、民間での運営を基本に検討する。再編については、地域の実情に応じて、子ども・子育て支援事業計画に位置づける。

「北上は若者を応援するまち!」というイメージが未来を創るんだけどな



ほし あつこ
星 敦子 議員

若者支援を施策の柱に

Q 人口減少・地域づくり・定住化促進等のキーワードである若者支援策を、大きな施策の柱として打ち出す時期ではないか。

A まちづくりの人材養成は重要であり、タウンミーティング開催継続など、若者の声を政策に反映できるようにする仕組みづくりを進めたい。

Q 若者担当課の設置や、若者議会開催による意見反映が必要と思うが、見解は。

A 現状の体制で、関係部署の連携を密にする。若者議会は、必要性を検討する。



北上市議会

検索

トップページから「議会活動」→「テーマ別意見交換会」→「議会改革推進会議意見交換」を選択してください。

多くの貴重なご意見を
うかがいました

常任委員会ごとに、各種団体等との意見交換会を実施しました。この取り組みは、平成24年度から継続しており、うかがったご意見は、条例や予算等の審議や、各議員の一般質問に生かされています。

また、今年度は新たに議会改革推進会議でも、市民との意見交換会を開催しました。

くわしい報告書は北上市議会のホームページからもダウンロードしてご覧いただけます。

総務
常任委員会

開催日 11月24日

◆消防団・婦人消防協力隊
「人数や処遇の課題等」

《出された意見》

- ・新入団員の確保が難しく、団員や家族のメリットが必要。市の施設の割引を検討してはどうか。
- ・職場の理解が得られるように、消防団員を雇用している企業への優遇策があれば良いのでは。
- ・イメージアップのため、特に

女性や若年層へのPRが必要。
・消防団の行事が多すぎるので、負担の軽減を。
・ボランティアの婦人消防協力隊は予算が限られ、活動が制限されてしまう。



▲ワークショップでの意見交換

・災害時の情報伝達は、FMやメールの活用が良い。
・情報は、伝言板や歩いて知らせるようなやり方が伝わりやすい。

産業建設
常任委員会

開催日 11月17日

◆建設業協会
「建設業の現状と課題」

《出された意見》

- ・従業員を募集しても集まらず、人手不足を感じる。
- ・半数以上は沿岸被災地での仕事であり、従業員は被災地に滞在している。
- ・あと3年くらいは震災復興に係る仕事があると思うが、その後が心配である。

・新たな従業員を雇用したいが、数年で復興関連の仕事が無くなることを考えると、採用に踏み切れない。
・熟練工の工が高齢で退職する見込みであるが、技術伝承が進んでいない。
・民間の工事だけでは苦しく、公共工事を増やしてほしい。
・建築業界は景気が良いと思われているが、生き残るのは厳しい。



▲15社の代表者との意見交換

教育民生
常任委員会

開催日 7月21日

◆社会福祉協議会
「平成27年度事業の概要」

《出された意見》

- ・ふれあいデイサービスでは高齢者の生きがいや居場所づくりを行っている。介護予防サービスができる貴重な場であり、今後も有効に活用していきたい。
- ・生活困窮者には包括的に支援しており、一緒にハローワークに行くなどの同行支援を行うほ

か、資金貸付の相談も受けている。
・フードバンクや低所得世帯学習支援などは、事業の性質上PRがなかなか難しいため、関係団体や学校とさらに連携を深めたい。
・介護保険に関しては、市の制度設計に合わせて、社会福祉協議会としてのタイムリーな事業提案をしていきたい。



▲会長ほか11名との意見交換

議会改革
推進会議

開催日 11月14日

◆各種団体からの推薦者
「選挙前に考える議員のあり方」

《出された意見》

- ・現在の議員構成は、年齢的な偏りがあり、男女の割合もアンバランス。この原因について、意見をうかがいました。

・議会活動の情報が少ないので、議会、議員が何をしているのかわからない。
・選挙にはお金がかかり、選挙運動も面倒。
・地域から代表として推薦されるのは年配者が多い。
・生活の保障がなく、落選したら無収入になってしまう。失業保険等がない。
・税金なのでムダ遣いはいけないが、議員報酬が少ない。
・子育て中は、時間に余裕がない。
・女性は家事で手一杯。



「議会モニター会議」を初めて開催

市民にわかりやすい議会となるよう、議会の運営についてのご意見をうかがう『議会モニター制度』を試行しました。9月から11月まで、20人の方に、会議の傍聴や議会だよりを読むなどの活動をしていただきました。そして、11月14日に「モニター会議」を開催。ワークショップ形式で行った意見交換では、とても参考になりましたので、今後の改善につなげていきます。



本会議を傍聴して…

・質問や答弁は簡潔にしてほしい。

・専門用語やカタカナ語を使わず、高齢者から子どもまで分かりやすい言葉で答弁してほしい。

・傍聴者は中身が分からないので、少しでも分かるようにする努力がほしい。

・検討しますという答弁の後で、どう検討され、どうなったのかを公開すべき。



・傍聴者入口が分かりづらく閉鎖的で怖い印象。

・質問席の議員の顔が、傍聴席からは見えない。

・一般質問の際、当事者以外の緊張感がないと感じた。

・傍聴者が気づいたことを書けるように、アンケート用紙を設置してほしい。(※)

議会だよりを読んで…

・ていねいに書かれていて読みやすい。

・以前より見やすくなった。

・議員のひとことコメントを楽しみにしている。

・表紙の写真を公募にしたのは良い。



・1ページの活字の量が多く字が小さい。

・詰め過ぎて空間が少ない。

・ページ数を減らして、ホームページを充実するなど考えてはどうか。

・子どもたちも読みたくなるような工夫が必要。

・表紙は子どもの写真でもかわいと思う。

・一般質問の記事は、質問を簡潔に書き過ぎていて内容が分かりにくい。

そのほか議会について…

・通年議会の導入は、市政に対する意気込みを感じて力強いです。

・ケーブルテレビが入らない地域や、パソコンを使えない人など、議会を知る機会が限定される人も多くいる。

・当局も議員も、先進地を色々見て来てほしい。

・議会報告の頻度を増やし、議員が地元の会場に出席できるようにしてほしい。



・議会モニターは、公募に加えて自治組織など地域から入ってもらいたいのは。

・モニターをやって、議員に親しみが持て、仲良くなれた。

・モニターの任期は、議会を傍聴する機会を選べるように1年間が良い。

(※)モニター会議終了後、アンケート用紙を傍聴ロビーに設置しました。

全員が賛成しました

・北上市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例



通年議会の導入により
年末に臨時会議を開催

マイナンバー制度に関わる市税条例の一部改正について審議するため、臨時会議を開きました。個人市民税等の減免申請書への個人番号記載を不要とする改正内容で、議員全員の賛成により可決しました。

これまで、年末年始などの休日に議決しなければならぬ議案は、市長が専決処分（*）していましたが、通年議会を導入したことから、議会を開き審議したものです。

（*）専決処分：時間的に議会を招集できない緊急の場合や、あらかじめ指定した軽易な事項に限って、市長が議会に代わって処理すること。



《視察の受け入れ》

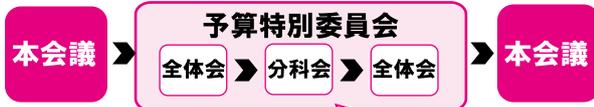
平成27年度は、29の自治体から245人の行政視察がありました。

《次の通常会議》

2月から3月にかけて開かれる通常会議では、

平成28年度予算についても審議します。平成28年度の市の方向性が決まる重要な会議になります。

予算審議の流れ



常任委員会ごとの3つの分科会に分かれ、それぞれの所管の予算について審査。その審査結果を受けて採決を行います。

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	19	20
初日・全体会						
21	22	23	24	25	26	27
		代表質問	← 一般質問	常任委員会		
28	29	3/1	2	3	4	5
		← 分科会			全体会	
6	7	8	9	10	11	12
最終日						

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
星	梅	菅	三	藤	齊	小	八重樫
敦	木	野	宅	本	藤	原	七郎
子	忍	志	靖	樹	雄	子	

- 10月 6日 広聴広報特別委員会
- 7日 島根県出雲市議会【視察受入】
東京都国立市議会【視察受入】
- 8日 埼玉県春日部市議会【視察受入】
神奈川県三浦市議会【視察受入】
- 13日 各派代表者会
農業団体との研修交流会
- 19日 栃木県下野市議会【視察受入】
- 20日 愛知県碧南市議会【視察受入】
- 22日 栃木県上三川町議会【視察受入】
- 26日 各派代表者会
花巻市議会との研修交流会
- 28日 北海道岩見沢市議会【視察受入】
- 29日 長野県佐久市議会【視察受入】
- 11月 2日 議会全員協議会
- 6日 神奈川県寒川町議会【視察受入】
- 12日 広聴広報特別委員会
北上市体育協会との研修交流会
- 14日 議会モニター会議
議会改革推進会議意見交換会
- 16日 一部事務組合等議会報告会
岩手県市議会議員研修会
- 17日 テーマ別・市民と議会をつなぐ会
《産業建設常任委員会》
議会全員協議会
東京都西東京市議会【視察受入】
- 24日 テーマ別・市民と議会をつなぐ会
《総務常任委員会》
- 30日 議会運営委員会
広聴広報特別委員会
- 12月 3日 各派代表者会
- 3日～17日 第208回12月通常会議
《本会議の傍聴者数は24名でした》
- 15日 議会運営委員会
- 17日 議会全員協議会
- 24日 広聴広報特別委員会
- 28日 議会運営委員会
議会全員協議会
市政調査会研修会
- 30日 第209回12月臨時会議
- 1月 14日 議会改革推進会議
- 20日 香川県さぬき市議会【視察受入】
- 22日 産業建設常任委員会（請願審査）
- 25日 広聴広報特別委員会
- 26日 岩手県議会【視察受入】

わかりやすく、親しまれる議会だよりを目指して



議員がどのような一般質問をしたのか分かりやすくするため、「項目ごと」から「議員ごと」に掲載方法を変更しました。

創刊号	平成3年7月	12名の編集委員により議会広報を発刊
9号	平成5年4月	表紙をフルカラーに変更
23号	平成8年10月	傍聴者数を掲載
31号	平成10年10月	常任委員会の行政視察報告を掲載
42号	平成13年7月	一般質問の内容を議員ごとに掲載
49号	平成15年5月	市議会ホームページを開設
57号	平成17年4月	代表質問を掲載 / 一般質問者の顔写真を掲載
80号	平成23年1月	議案に対する各議員の賛否を掲載
87号	平成24年10月	一般質問のページに議員の「ひとこと」を掲載
97号	平成27年7月	表紙に公募写真を使用



第50号(平成15年7月)
表紙：夏油高原新緑まつり
『企業誘致優遇制度を可決』



第55号(平成16年11月)
表紙：中学校陸上競技大会
『地方自治と防災を問う』



第60号(平成18年1月)
表紙：黒北ラグビー部
『公民館の移行が焦点に』



第65号(平成19年4月)
表紙：北上川の鯉のぼり
『当初予算は骨格予算』



第70号(平成20年7月)
表紙：お滝さん水車まつり
『家庭ごみ手数料化記名投票』



第75号(平成21年10月)
表紙：白髭神社の秋祭り
『決算4会計に意見を付す』



第80号(平成23年1月)
表紙：相去地区交流センター
『税率アップに議論白熱』



第85号(平成24年4月)
表紙：樺山まつり
『新議員26名紹介』



第90号(平成25年7月)
表紙：更木幼稚園の神楽
『夏油高原スキー場無償貸付』



第95号(平成26年10月)
表紙：アジアマスターズ
『民俗村条例など制定』